

会 議 録

会議の名称	令和7年度結城市総合教育会議
開催日時	令和8年1月21日 午後2時00分
開催場所	結城市役所4階 大会議室3
出席者	構成員 結城市長 小林 栄 教育長 黒田光浩、教育長職務代理者 中村義明 教育委員：岩崎 勤、赤木信之、田中昌希 構成員以外の出席者 ・総務部 総務部長、次長兼総務課長、総務課長補佐兼総務係長、総務課主事 ・教育委員会 教育部長、学校教育課長、学校教育課長補佐兼小学校新設推進係長、 参事兼指導課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長
議 題	結城市教育大綱について
公開・非公開 の別	公 開
傍聴人の数	0人
審 議 内 容	別紙のとおり
問 合 せ 先 (事務局)	総務部総務課総務係 TEL 0296-34-0402 FAX 0296-54-7009 e-mail soumu@city.yuki.lg.jp
そ の 他	

令和7年度結城市総合教育会議

○日 時 令和8年1月21日 午後2時00分から

○場 所 結城市役所 大会議室3

○出席者

(会議の構成員)

小林 栄 市長
黒田光浩 教育長
中村義明 教育長職務代理者
岩崎 勤 教育委員
赤木信之 教育委員
田中昌希 教育委員

(構成員以外の出席者)

・総務部

総務部長、次長兼総務課長、総務課長補佐兼総務係長、総務課主事

・教育委員会

教育部長、学校教育課長、学校教育課長補佐兼小学校新設推進係長、
参事兼指導課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長

(説明者)

学校教育課長補佐兼小学校新設推進係長

○議 事 (協議・調整事項)

結城市教育大綱について

1 開 会（司会：総務課長補佐兼総務係長）

- ・ただ今から「令和7年度結城市総合教育会議」を開会いたします。

2 市長挨拶（小林 栄市長（以下「市長」）

【挨拶 省略】

3 教育長挨拶（黒田光浩教育長（以下「教育長」）

【挨拶 省略】

4 議 事（議長：市長）

・結城市教育大綱について（説明者：学校教育課長補佐兼小学校新設推進係長）

○第6次結城市総合計画後期基本計画のうち、前期計画の内容から変更や追加があった箇所について、資料に基づき説明。

- ・資料1：結城市教育大綱
- ・資料2：「教育大綱」及び「教育振興計画」について
- ・資料3：第6次結城市総合計画後期基本計画【体系別計画】（抜粋版）

（主な内容）

- ・現状の教育環境について、デジタル技術の活用や授業のオンライン化、児童生徒数の減少による小規模校化の進展などを追加した。
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた誰一人取り残すことのない「インクルーシブ教育」の充実を追加した。
- ・猛暑などへの異常気象への対策として体育館への空調設備の導入など、新たな需要への対応を今後の課題として記載した。
- ・「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）をさらに進展させ、「地域とともにある学校づくり」を目指していく必要がある。
- ・「ふるさと学習」「英語教育」「プログラミング学習」などの特色のある教育活動を柱に据えて、市内全校で実施する取組として充実を図る。
- ・結城市学校適正配置等に関する方針に基づき、小学校の統廃合及び新設校建設の検討や学区再編、通学区域の見直しにより、児童生徒数の平準化を図り、適正規模の学校運営を目指す、といった具体的な方向性を示す内容とした。
- ・学力などの「認知能力」に加え、様々な体験型学習によって培われる自律性や協調性などの「非認知能力」を育み、両方の能力をバランスよく高め合うことで、変化に対応できる総合的な人間力を養う、といった「非認知能力」の重要性について追加した。
- ・学校給食における地産地消・有機食材の活用を推進するといった文言を追加した。
- ・「学校教育の充実」の主要事業に、「水泳学習指導民間委託事業」、「コミュニティ・スクール推進事業」を追加した。
- ・経済的な理由により就学の機会を損なわないよう支援するため、大学生や専門学生などへの条件付き返還免除型の奨学金を貸与する、といった経済的支援の充実を明文化した。

- ・魅力ある教育の推進の主要事業に、英語学習推進事業、ふるさと学習推進事業、プログラミング学習推進事業を追加し、進捗を管理していく。
- ・生涯学習分野では、市民文化センターアクロスと市民情報センター・ゆうき図書館の施設や設備の老朽化による改修・修繕費の増加等について、今後の課題として整理した。
- ・スポーツ・レクリエーション分野では、中学校生徒の部活動の地域展開への取組が進められており、指導者の確保や実施体制の整備が課題となっている文章を追加した。
- ・スポーツ活動を推進する人材の育成・支援の主要事業に「部活動の地域展開」を追加した。

○岩崎勤委員

- ・ふるさと学習推進事業に関連して、郷土愛が地域、地域社会及び経済へどんな影響があるのか市長の考えがあればお聞きしたい。

○市長

- ・地元のことを知らないと誇りを持ってないと思う。結城市民に限らず、地元の人には地元の良さを認識していないことが多いと感じる。
- ・1月から（2月上旬まで）「にじいばジャーニー」という「バーチャルユーチューバー」と結城市がコラボをしたイベントを行っているが、1週間で約5千人もの観光客が来た時があった。また、結城廃寺や武井地区の発掘調査により色々な出土品が出ている。こういった様々な結城の誇りの事業を行っているため、子どもたちのそれぞれの興味分野を深めていくことで郷土愛を育むことにつながる。子どもを含め、地元の人に地元の価値を再確認してもらうことが大切だと思う。

○中村義明教育長職務代理者

- ・「にじいばジャーニー」のイベント期間中、市民情報センターの天体ドームに、普段の10倍ほどのお客さんが来ていたため、その宣伝効果はすごいと感じる。しかし、そういったイベントを行っていることを知らない職員もいたため、職員間での情報共有をしっかりと行ってほしい。

○田中昌希委員

- ・私が住んでいる粕礼（山川地区）では、小中学生の相撲やおみこしなど伝統的行事を守り続けている。そして、若者達が地元へ戻り大家族として住んでいる。
- ・子どものうちからふるさとの良さを知っていれば、地元に戻ってきやすくなるのではないかと思う。地域の伝統的行事を続けていける環境づくりや若者が戻ってくる環境を作ってほしい。
- ・大家族といったお年寄りがすぐそばにいる環境があると、子どもたちの逃げ場にもなるのではないか。不登校等の様々な問題もあるため、そういった問題への解決にもつながると思う。

○市長

- ・市内の様々な地域でおはやしが残っているため、おはやしに興味がある子どももいると思う。授業等に取り入れると面白いと感じる子どももいるのではないか。

- ・新設を検討している小学校には、児童だけではなく、地域の方も一緒にごはんを食べたり、おしゃべりをしたりできるようなランチルームを設けたいと考えており、子どもと地域の方との交流が気軽にできるようになればと思っている。

○赤木信之委員

- ・結城に目を向ける機会を作ることが大切だと思う。ケーブルテレビ等でシリーズ化して放映し、地域の魅力を発信する必要があると思う。

○教育長

- ・南中学校区では学校ごとに様々な「ふるさと学習」に取り組んでいる。
- ・ふるさと学習、プログラミング学習、英語教育など様々な学習に力を入れて行っているが、PRが足りない。もっとPRすれば、地域への愛着と誇りへの教育環境づくりにつながると思う。

○岩崎勤委員

- ・英語教育として、授業の中で学ぶことはもちろん大切だが、留学のような外国へ行き実践するといったことも大切だと思う。実践の種をまくことがこの先の英語教育に必要なのではないか。

○参事兼指導課長

- ・現在各中学校において、オンラインで外国の学校とディスカッションする授業を取り入れている。
- ・ARTの委託業者が中心となり、来年度、ニュージーランドの高校生が結城市に来訪する予定となっており、中学生だけでなく、結城第一高等学校の生徒も含めた幅広い交流事業が展開できればと思っている。生徒同士で交流できる場が増えると国際的な場面での活躍につながる。

○市長

- ・教育においては、感受性豊かにバランス良く育てていくことが課題である。

5 閉 会

- ・以上をもちまして、令和7年度結城市総合教育会議を閉会いたします。
本日は大変ありがとうございました。

午後3時00分 終了